出題趣旨・採点基準（刑事訴訟法）配点５０点

本問は、捜査の過程において各種の偽計が用いられた事例を題材に、強制処分該当性や任意処分の適否の判断基準ないし領置の可否の判断基準を検討させ、また、令状に基づく捜索差押えに必要な処分の意義及びその適否の判断基準並びに令状呈示の時期について検討させた上、これらに照らして当該事例における具体的帰結を述べさせることにより、捜査手続とりわけ証拠収集手続に関する諸規律についての理解を問うものである。

これによって、基本的な法律科目に関する基礎的学識を習得し、法的な思考・判断力、理解・分析力及び表現力を備えているかを判定した。